

障がい児短期訓練実施

～在宅の自閉症児を支えるために～

知的障害者
更生施設

拓光館

みんなが主役!! (マツケンサンバ)



榎木運搬より、おいしい椎茸が食べたいナ!

7月29日から8月1日にかけて、当園において恒例の「障がい児短期訓練」が行われました。

この事業は、在宅の自閉症児等に対する地域支援の一環として、①作業やレクリエーションを通じた療育活動の場を提供することにより、将来的に地域で生活していく力を身につけてもらう②社会福祉の勉強をしている学生の方々に対して障がい児への理解を深めてもらう③施設機能の地域への開放④職員の支援技術の向上等を目的として、平成13年から取り組んできたものです。

今回は、13歳から18歳までの11名の方が参加し、訓練を支えてくれるボランティアとして『弘前学院大学』より18名の学生さんが協力してくださいました。主な日課や進行についてはボランティアの学生さんが主体的になつて組み立て、事前に写真などを使いながら手順や日程を参加者にわかりやすいように説明してくれました。

今回は椎茸の榎木運搬やステンドグラス作りなどの作業の他に、レクリエーションやスパーマーケットでの買物訓練なども取り入れられました。ひとくちに訓練といっても、内容は堅苦しいものではなく、常に一人ひとりの個性やペースを尊重しながら終始楽しく参加してもらるように配慮して、展開されました。そして、毎日の訓練の締めは、最終日にご家族の前で披露する「マツケンサンバ」の踊りの練習と、その時に使う小道具作りに励みました。

4日間の訓練を終えていよいよ最終日、ご

家族・ボランティア・施設の三者による反省会が始まると、「マツケンサンバ」の曲が軽やかに流れ出しました。すると、皆とても楽しそうな表情でボランティアの方と一緒に作った小道具を手に自然に踊りだし、見守っていたご家族も思わず身を乗り出してしまいうほど盛り上がりました。

今回の訓練も無事に終了することができましたが、反省会ではご家族の方より「これまでの訓練を通して、子供たちとボランティアの学生さんとの信頼関係が既にできていることから、訓練をとっても楽しみにしている」「事前の打ち合わせである程度相互理解が図られ、安心して任せられる」などの意見が述べられていました。

最後に、この訓練のために準備段階から精力的にご尽力いただいたボランティアの学生さんに対して深く感謝申し上げますとともに、今後もよりいっそう充実した訓練が開けるよう努力していきたいと考えています。

なお、この訓練は夏休みの他に冬休みにも実施しています。興味やご関心をお持ちの方はぜひ当園までお問い合わせください。お電話をお待ち申し上げます。

0172-96-2331

峰のひかり

法人 社会福祉法人 七峰会

理事長 奥田 稔

〒036-8356
青森県弘前市大字下白
銀町21-8
電話(0172)33-8861
FAX(0172)33-8862

好発進！ 『エイブル』号

私たちの製作活動

知的障害者
通動寮
拓心館

「お早うございませう」のにぎやかな声が飛び交い、今日も『エイブル』の一日が始まります。ほとんどの方が毎日利用されることから、顔ぶれはお馴染みで、皆、「自分の居場所」として定着してきたようです。その後はバイタルチェックをしながら健康状態を確認し、いよいよ仕事に取りかかります。

『エイブル』は「仕事のできるデイサービスセンター」として、今年1月に弘前市若葉二丁目に開設しました。「知的なハンディキヤップがあっても、できる範囲で生産活動がしたい」というご本人・ご家族の気持ちは、前身である勇心学園の頃から痛いほど感じてきたことです。人として何らかの役割を持ち、それが評価され、かつ、継続されるのは、簡単なようで難しいことも経験しています。でも、だからこそ尊いと換言できるとおもいます。『エイブル』の機能は、「働きたい」の意欲を誰もが抱いているという事実を噛みしめ、一人ひとりに合った作業を提供し、また、そのペースを尊

重することで、「安心して過ごせる居場所であること」と考えています。ただ、一般就労の可能性がある方には、『津軽障害者就業・生活支援センター』（岩木町・知的障害者通動寮『拓心館』内）と連携し、積極的に実習や就労先の紹介ができる点も、大きな特徴の一つになっていきます。

主な作業科目は①果物ネットを束ねて梱包②箸袋製作③箸の帯巻きなどですが、先日、ある料理店の紹介記事が新聞に載り、私たちの作った箸が料理と共に写っていました。皆で回し読みして喜んだのは、記憶に新しいところです。

また、スーパーマーケット等の青果コーナーでは、毎日手にする果物ネットを日常的に見かけます。「社会に通用する製品作り」という点で、やりがいを感じている方が多いように感じます。

現在は一日の定員15名に対しほぼ満員で推移しており、新規に利用を求める声が多く聞かれることに對しては、5名の増員を検討しています。興味のある方はご連絡ください（☎37-9060）。

今後は、より多くの作業種を提供し続けたい、そして、この輪を地域社会に広げ、皆様に喜んでいただきたいと考えています。



最高！おらほの夏まつり

身体障害者
療護施設
山郷館

季節は「夏まつりシーズン」となりましたが、施設行事の夏まつりについて、皆さんはどのようなイメージをお持ちでしょうか？それぞれ施設によつて内容はまちまちですが、共通していることは、地域のイベントとして親しまれ、定着していることです。

さて、山郷館の夏まつりですが、毎年7月の最終土曜日に実施されます。今年は、7月30日に行われまして、利用者・家族・ボランティア・地域の皆さんが一体となった約300名ほどのなかなか楽しいまつりとなりました。中でも定番となっているのは、①模擬店の生ビールと焼肉・海鮮焼きです。中庭に用意された炭焼き、コンロで各自が直接焼きながら食べました。ジュ

ージュ焼けた牛肉とエビ・帆立などの厳選素材を生ビールで流し込むのが最高です。夕方のスタートが待ちきれず、皆さん午後からそわそわしていました。②催し物は、オープニングの「サンバダンスショー」

からファイナーレの登山ばやしと花火まで、大いに盛り上がりました。

企画―実施―参加。初めから終わりまでが、心湧き立つ「私たちの夏まつり」です。そして、会場にいる全員が主役なのです。

「夏まつり」は、各施設がそれぞれ個性を発揮していますが、山郷館の場合も必ずや満足していただけるものと思えます。皆さんもぜひ！ご来場ください。そしてご意見・ご要望をどしどしお寄せください。



屋上は展望台

『デイサービスセンターわかば』オープン



特別養護
老人ホーム
ザアップルホーム

「晴れた日は展望台で食事ですねー。これが利用されている皆さまの合言葉です。南からの心地よい風を受けて、おいしい昼食はいかがですか。木製の六角テーブルと大きなパラソルの下でコーヒを啜ると時間を忘れます。

ゆったりとした大浴場で汗をながして下さい。浴室の窓から野鳥のさえずりが聞こえます。近くでキジも鳴いています。大浴場の隣りには、ひとり用のお風呂が二つあります。ヒバのお風呂は木の香りがこころを落ち着けます。お昼ご



飯は9品目を基準にし、漆盆と瀬戸物の器に彩り良く盛り付けられたお料理が大好評です。

午後の軽い運動はタオルを使って行ないます。頭と指のトレーニングは楽しみながら、すすめていきます。

もう一度展望台に戻りますと、西は岩木山、手前にリング公園が間近に見えます。右の方に進んで禅林街、平賀ドーム、東は八甲田連山、南は久渡寺方面の山々が一望できます。

私たちは、経験豊かなスタッフを中心に「なじみの関係づくり」をしながら専門性の高いサービスの提供を心がけています。また、ご家庭で介護する方の負担を、少しでも軽減できるよう支援いたします。

【お問い合わせ先】

- ▼ デイサービスセンターわかば
- ▼ 弘前市大字若葉二丁目15番地
- ▼ ☎ 0172-37-1116
- ▼ 担当 佐々木・大里・須郷

作業場拝見

身体障害者
授産施設

旭光園

現在行なっている授産科目には、製袋作業、ラベル製造作業、箸製造作業があります。その中で今回は、箸部門を紹介したいと思えます。

箸部門では、箸袋のデザインから完封箸、箸の差込みと検品・納品まで、一貫して作業を行なっています。

最近では、既製品の箸袋よりも、各お店のオリジナルデザインの商品が多くなっています。その期待に応えてくれるのは、箸部門を支える6名の方です。機械操作にかけては「超ベテラン」20年の経験をもつ方、「超高速」で箸袋への差込み作業を行なう方、そして最後の要である検品作業と梱包を担当



う4名の方で構成されています。注文を受けると同時に校正に入り、デザインの立ち上げを行ないます。イメージに合った箸、紙質、色見本を確認しながら、お客様が納得されるまで話し合い、製造に入ります。梱包もお客様のご要望に合わせて、100膳ずつ袋に入れ、1箱の入り数まで自由に選ぶことが出来ます。出来上がった製品は、丁寧、かつスピーディに配達いたします。

既製品もパーティーやちょっとした祭り事で使う分など、100膳単位で販売しています。営業用・家庭用を問わず、お気軽にお声をかけていただければ、数量、価格ともにご相談に応じます。

先ずは、お電話を...

☎ 0172-57-5155

(箸部門まで)

お待ちしております。

いわせてネット

目指せ！ 金メダル

知的障害者
通勤寮
拓心館

昨年8月の『青森県障害者スポーツ大会』で好成績を収め、来る11月3〜9日に岡山県で開催される『全国障害者スポーツ大会』の陸上競技青森県代表選手の一人として、拓心館の長門寿さんが選ばれました。

現在は毎月一回、青森総合運動公園で強化練習会が行われています。全国大会での金メダルに向けて練習にも熱が入り、ヤル気に満ちあふれている長門さんにインタビューをしたいと思います。

陸上競技の選手に選ばれたと知った時、どのような気持ちでしたか？

走るの好きだはんで、すごく嬉しがった！

走ることが大好きということですが、食べ盛りの長門さん、ご飯を食べることと走ること、

どちらが好きですか？

……(しばらく悩んで) 選べねえはんで、ご飯食べながら走る！

なるほど(笑)。走るためには食べて体力をつけなければいけませんね。ところで、陸上のどのような種目に出るのですか？

100メートル走とりレー！100メートルだば13秒で走るにいや！

速いですね！それは強化練習会でのタイムだと思おうのですか？



が、練習会に出てみての感想は？

緊張するし疲れるけど、走れるはんで嬉しい！

本当に走ることが好きなんです。それでは最後に、大会に向けての抱負をどうぞ。

金メダル2個とります！あと、もつと速く走るにいくなつて24時間テレビのマラソンランナーさなりたい！

大きな目標ですね！目標に向かって頑張ってください。11月の大会での金メダル、期待しています！

総合支援

弘前市委託事業
身体障害者相談支援事業
弘前市障害者生活支援センター
TEL 31-2400
青森県指定
津軽障害者就業・生活支援センター
TEL 82-4520

知的障害者援護

拓心館 TEL 82-4520
知的障害者グループホーム9か所
生活自立訓練事業
地域生活支援センター
勇心学園
デイサービスセンターエイブル
光園 TEL 96-2331
通所利用事業
拓光園デイサービスセンター
拓光園短期入所支援センター
拓光園障害児短期入所支援センター
知的障害者グループホーム(2ヶ所)

身体障害者援護

山郷館 TEL 97-2211
身体障害者(児)短期入所事業
山郷館デイサービスセンター
山郷館デイサービスセンター弘前
山郷館デイサービスセンターくねよん
山郷館訪問介護センター
山郷館訪問介護センター黒石
光園 TEL 57-5155
通所相互利用事業
旭光園身体障害者短期入所事業
身体障害者福祉ホーム さわら

特別養護老人ホーム

サンアップルホーム TEL 97-2111
サンアップル短期入所生活介護センター
サンアップルホームエイサービスセンター
サンアップルヘルパーセンター
グループホームアップル
(認知症対応型共同生活介護)
サポートセンターわかば
弘前市大字若菜2丁目15
TEL 37-1165
グループホームわかば
デイサービスセンターわかば
弘前市委託事業
サンアップル在宅介護支援センター
TEL 97-2131

居宅介護支援事業

山郷館居宅介護支援センター
TEL 97-2941
サンアップル居宅介護支援センター
TEL 97-2131